

## 血統表

エスポワールシチー 栗毛 2005	ゴールドアリュール 栗毛 1999	サンデーサイレンス	Halo	<b>Hail to Reason</b>	
			Wishing Well	Cosmah	
			Nureyev	Understanding	
			Reluctant Guest	Mountain Flower	
				Northern Dancer	
	エミネントシチー 鹿毛 1998	ニキーヤ	Roberto	<b>Hail to Reason</b>	
			Kelley's Day	Bramalea	
			ブレイヴェストロマン	Graustark	
			コンパルシチー	Golden Trail	
				Never Bend	
アヴァマローネ 栗毛 2016	Curlin 栗毛 2004	Smart Strike	<b>Mr. Prospector</b>	Raise a Native	
			Classy 'n Smart	Gold Digger	
			Deputy Minister	Smarten	
			Sherriff's Deputy	No Class	
			Barbarika	Vice Regent	
	Dayatthespa 栗毛 2009	City Zip	Carson City	<b>Mr. Prospector</b>	Mint Copy
			Baby Zip	Bates Motel	
			Doc's Leader	War Exchange	
			M'Lady Doc	King Pellinore	
			Smart Queen	Clever Bird	

Mr. Prospector : M4×M5、Hail to Reason : S5×S5

## 種 牡 馬

### エスポワールシチー

- 2005年生 栗毛 門別産
  - 競走成績 日米40戦17勝  
フェブラリーS(G1)、ジャパンCダート(G1)、マイルCS南部杯(Jpn1)3勝、かしわ記念(Jpn1)3勝などG19勝 2年連続JRA最優秀ダートホース
  - 種牡馬成績 2014年から供用中 2017地方新種牡馬ランキング1位
- 【主な産駒】イグナイター(JBCスプリント)、ヴァケーション(全日本2歳優駿)、ペイシャエス(名古屋GP)、ケイアイドリー(北海道スプリントC)、メモリーコウ(東海S3着)、ヤマノナイト(羽田盃)



©優駿

## ブルードメアサイアー

### Curlin

- 2004年生 栗毛 米国産
- 競走成績 トバイワールドC(G1)、ブリークネスS(G1)、BCクラシック(G1)
- 主な産駒/母の父として: ガストリック(東スポ杯2歳S)、Big Invasion(ニアーケティックS)、General Jim(パットデイマイルS)、リビアングラス(京都新聞杯3着)/父として: Exaggerator(ブリークネスS)、Malathaat(BCディスタフ)、カラライナ(エイコーンS)、パレスマリス(ベルモントS)

### ● 牧場コメント

産まれた時は、壁を向いてゆらゆらしながらも立つ姿勢を保とうとじっとしていたのが印象的です。産まれたてながらにピチッと厚みを感じましたので、成長に関しては不安を感じませんでした。ただ、両前が若干、湾膝気味でこの部分に少し苦勞をするかもしれないと同時に思った事を覚えていきます。性格は少しやんちゃな部分もありましたが、何をしても人間を脅かすことはありませんでした。体質面は湾膝を治すための治療を行いました。月齢を重ねるにつれて腿も少しずつ緩み、良化へと進んだ印象です。大型馬とまでは言わないまでも平均より体格の良い馬になるのではないかと予想しています。中距離前後で能力を発揮してくれそうな印象を持っています。名門の打越厩舎に入れることに驚いています。生産者としても期待が高まるばかりです。虹の橋を渡ってしまった兄ロソグイーノや応援をしてくださる皆様の思いをのせて頑張ってもらいたいです。(静内ファーム・原氏)

## POINT

地方競馬の中において存在感を高めている高知競馬からデビュー予定。高知から全国各地へと、その名を轟かせる活躍を期待。

## 個体および検査情報

### ◎悪癖=なし

### ◎ノド内視鏡検査=グレード1

グレード1: 左右披裂軟骨の動きに差異はなく、完全な外転が可能で維持されます。

### ◎レントゲン検査

前肢種子骨評価=左(外0、内1) 右(外0、内1)

グレード0: 骨に異常形成された線状陰影を有さず、輪郭も概ね正常

グレード1: 幅2mm以上の線状陰影を1~2本有する

大腿骨ボーンシスト=左(所見なし)、右(所見なし)

左前球節: 内側種子骨に太い(幅2mm以上)の線状陰影が1本みられます。

外側種子骨にやや太い(幅2mm以下)線状陰影が1本みられます。

右前球節: 内側種子骨に太い(幅2mm以上)の線状陰影が1本みられます。

左飛節: 第3足根骨に透過線がみられ、骨増生がみられます。

右飛節: 第3足根骨に骨増生がみられます。

### ● 獣医師コメント (カワタエクワインプラクティス・浮田悦子獣医師)

両前肢種子骨の線状陰影は現状では許容範囲内と考えますので、様子見です。両飛節の骨変化は現状では症状はみられませんので、様子見です。

※ノド内視鏡検査、レントゲン検査は7月3日に行いました。

※検査情報は募集開始時点での担当獣医師の見解であり、将来的な健康状態を保証するものではありません。

SP遺伝子検査  
C:C 短距離適性

体高遺伝子検査  
A:A 傾向=低

測尺  
体高 151cm  
胸囲 166cm  
管囲 19.5cm

(2024年7月25日時点) ※最新の馬体重はホームページをご参照ください。